

無名抄 関路の落葉 鴨長明

問一、次の漢字の読み方「関路」「殿上」「歌合」「紅葉」
「出で映え」「高名」

①建春門院の殿上の歌合に、「関路の落葉」といふ題に、頼政卿の歌に、

を出発するとき

②都にはまだ青葉にて見しかども
問二、「見しかども」品詞分解
問三、「青葉にて見しかども」訳

長い旅の末に到着すると

紅葉散り敷く白河の関
問四、何を詠んだ歌か「紅葉の美しさと旅の（）」
問五、体言止めの効果は

③とよまれ侍りしを、
問六、詠んだのは誰
問七、2つの敬語の説明

そのたび、この題の歌あまたよみて、
問八、「この題」とは何
問九、「あまたよ」んだのは誰

この歌を出すかどうか

当日まで思ひわづらひて、俊恵を呼びて
問十、俊恵を呼んで何をしてもらおうとしたのか
問十一、鴨長明・俊恵・頼政の上下関係は

見せられければ、
問十二、訳
問十三、何を見せたのか
問十四、敬語の説明

④「この歌は、かの能因が『秋風ぞ吹く白河の関』といふ歌に似て侍り。
問十五、「といふ歌に似て侍り」訳
問十六、敬語の説明
問十七、似ている点はどこか

⑤されども、これは出で映えすべき歌なり。
問十八、訳

ほどの出来栄え

⑥かの歌ならねど、
問十九、「かの歌」とは何
問二十、「ならねど」品詞分解

題で与えられた素材を

かくも取りなしてんと、
問二十一、「取りなしてんと」品詞分解
問二十二、訳

いしげによめるとこそ見えたれ。
問二十三、「いしげによめる」品詞分解
問二十四、係り結びの説明
問二十五、能因の歌よりも巧みな点はどこか

対して

品詞分解 活用の行・種類・
品詞・終止形・活用形・意味
の説明

敬語の説明 敬語はどれか・敬
語の種類・品詞（本動詞、補助動
詞、助動詞）・敬意の方向

「歌合」「殿上」「関路」「卿」

しか

「白河の関」歌枕 奥州三関の
一つ 他には「鼠ヶ関」（新潟県
と山形県境）、勿来（なこそ）の関
（福島県と茨城県境）「なこそ」
は何の掛詞？

し 識別①②

け 識別③⑪⑫
ば 識別①⑨⑩

P123

なり 識別②③

なん・てん・ぬらん・つらん・ぬべし
・つべし

⑦ 似たりとて難ずべきさまにはあらず。」

問二十六、何と何が似ているのか

問二十七、似ているからといってどうすべきではないのか

問二十八、訳

とはからひければ、

問二十九、主語

⑧ 車さし寄せて乗られけるとき、

問三十、どこへ行く

問三十一、敬語の説明

「貴房のはからひを信じて、

問三十二、「貴房」誰

問三十三、主語

さらば、これを出だすべきにこそ。

問三十四、何をどこに出すのか

問三十五、係り結びの説明

歌合で負けた結果が出た場合の

のちの咎をばかけ申すべし。」

問三十六、訳

問三十七、敬語の説明

と言ひかけて、出でられにけり。

問三十八、「出でられにけり」品詞分解

問三十九、敬語の説明

の歌合で

⑩ そのたび、思ひのごとく出で映えて勝ちにければ、

問四十、誰のどのような「思ひ」か

帰りにて、すなはちよろこび言ひつかはしたりける返事に、

問四十一、訳

問四十二、「返事」の主は誰

⑪ 「見るところありてしか申したりしかど、

問四十三、「見るところ」とは 抜き出す

問四十四、2つの「しか」の説明

問四十五、敬語の説明

の結果を

勝負聞かざりしほどは、

問四十六、「聞かざりしほどは」傍線注釈

あいなくこそ胸つぶれ侍りしに、

問四十七、俊恵はどのくらいの自信だったのか

問四十八、敬語の説明

問四十九、係り結びの説明

⑫ いみじき高名したりとなん、

問五十、「いみじき高名したり」とは何

問五十一、品詞分解

心ばかりはおぼえ侍りし。」

問五十二、敬語の説明

問五十三、「おぼゆ」と「思ふ」のニュアンスの違い

とぞ、俊恵は語りて侍りし。

問五十四、誰に語ったか

問五十五、敬語の説明

問五十六、「ぞ」と「なむ」の違い

けれ 識別 ③ ⑪ ⑫

識別 ⑬

識別 ⑬

つかはす…《丁寧語》手紙や贈り物を「やります」

識別 ① ②

あいなく 識別 ① ②

識別 ① ②
なん 識別 ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

おぼえ

じゃあ、「おぼす」「おほす」はなんでしょう？

識別 ① ②

「き」と「けり」の違いは今更いいよね。
p123